

平成30年度 教育指導の重点

岐阜県立不破高等学校

(全日制課程)

- 1 **学校経営** 生徒の実態や時代の変化に即した活力ある学校経営の推進
 - (1) 授業規律や基本的生活習慣の確立を図り、全職員が一体となった単位制高校としての学校運営に努め、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開及び環境整備（『不破高スタイル』）を推進する。
 - (2) 単位制のメリットを最大限に活用し、進路希望別に5つの類型による教育課程を編成し少人数授業を展開するなど、特色ある学校づくりを推進する。
 - (3) 地域との積極的な連携交流を図り、地域とともに魅力と活力ある学校づくりを行い、地域に貢献できる人材育成に努める。
 - (4) 生徒・保護者・学校関係者の意見を学校運営に活かし、常にPDCAサイクルに基づき学校改善を行う。また、積極的な広報活動を推進し、学校の教育活動を地域社会等にアピールする。

- 2 **研修** 活力ある学校づくりを目指した組織づくりと教師としての資質・能力を高める研修の充実
 - (1) 教師としての使命感の高揚と倫理観の確立を図り、意識改革を進める。
 - (2) 教科の枠を越えた研修グループを設定し、アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた学習活動の積極的な導入と指導及び評価方法の研究を通して、生徒の学習意欲を喚起し、分かりやすい授業づくりを推進する。
 - (3) 社会的情勢と、地域に根ざした学校課題を明確にし、教師としての専門性を高める研修を組織的・計画的に行うとともに、情報機器の活用能力の向上を図る。

- 3 **教科指導** 基礎・基本の定着と、アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた学習活動の導入による主体的な学習態度の育成
 - (1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、義務教育段階までの「学び直し」を行うとともに、具体的な到達目標を定め、指導内容の重点化と教材の精選を進める。
 - (2) 生徒の興味・関心を喚起し、成就感・達成感が得られるよう指導方法を工夫するなど魅力ある授業づくりに努める。
 - (3) 個々の生徒の学習過程を大切にし、適切な評価方法を工夫するなど個を生かした指導に努める。

- 4 **特別活動** 豊かな人間性と自主的、実践的な態度の育成
 - (1) 学校行事及び生徒会活動において、帰属意識や愛校心を育てるとともに、体験的な活動やボランティア活動等を通して、リーダーの養成、自主的・実践的な態度の育成に努める。
 - (2) ホームルーム活動及び部活動においては、集団への適応を図るとともに、人間としての在り方・生き方に関する指導の充実に努める。

5 生徒指導 共感的理解に徹した自己指導能力の育成

(1) 基本的生活習慣を確立する

- ・保護者との連携を密にして、全職員の共通理解・共通行動のもと、身だしなみ・遅刻・授業規律等の学校生活における規範を遵守する態度を育み、自ら規律ある生活を送ることができるよう支援する。

(2) 人権を尊重し合い、偏見や差別に向き合う態度を身に付ける

- ・全ての教育活動を通して人権教育に取り組む。
- ・信頼と愛情に基づく共感的な生徒理解に努め、予防的・開発的教育相談を推進し、いじめや不登校への迅速な対応に努める。特に、いじめについては、SNSに起因するいじめ等多様化するいじめの形態を理解し、未然防止を心掛けるとともに、早期発見・早期対応はもちろんのこと再発防止を徹底する。

(3) 問題行動や不登校については、全職員が危機意識をもち、組織的に対応し、未然防止・早期発見・早期対応に努め指導を徹底する。

(4) 学校・家庭・地域社会が一体となって取り組む体制づくりを整備し、MSリーダーズ活動やボランティア活動、非行防止活動などの社会参加活動を援助する。

(5) 個に応じた指導を徹底する。特に発達障がいをもつ生徒の指導においては、学校・家庭・関係機関の連携を深め情報の共有をするとともに、必要に応じて個別の支援計画を作成し指導の一貫性を図る。

6 進路指導 総合的な学習の時間（不破スピリットタイム＝F S T）を柱としたキャリア教育の推進及び自己実現を可能にする基礎学力の養成

(1) 3年間を通じて一貫性のある進路指導を実施することにより、自己の適性を的確に理解した上で、進路目標を決定させる。

(2) 進路目標実現を可能にする学力が身に付くよう、各種模試の事前・事後指導の徹底、補習の充実を図る。

(3) 担任・教科・学年が緊密な連携を図ることにより、共有した進路情報を個別進路相談や教科指導等に生かし、生徒の進路実現を援助する。

(4) 生徒一人一人の勤労観・職業観を育成し、進路未定者を出さないよう努める。

7 健康・安全教育 健康の保持増進と安全教育の充実

(1) 食生活等の生活習慣や心身の健康の状況を的確に把握し、自主的に健康を管理、改善できる能力を育成する。特に歯の健康の改善に心掛ける。

(2) 生涯スポーツの基礎づくりと体力の向上に努める。

(3) 学校内外における事故等に対する危機管理態勢の確立を図り、教育活動全体を通して安全教育の充実に努める。